令和４年６月８日　一般幹部候補生課程入校式　祝辞

祝　　辞

本日，ここ海上自衛隊　第１術科学校大講堂において，第五十六期　一般幹部候補生課程の入校式が，厳粛に挙行されるに当たり，地元，江田島市民を代表して，お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部候補生課程に御入校の皆様，本日は誠におめでとうございます。

これから皆様は，旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐ，ここ江田島の地で，部隊を統率するための，高い教養と技能を身に付けるべく，錬成訓練を受けることとなります。国防の要を担う皆様をお迎えできることは，江田島市として大きな喜びであり，心から歓迎を申し上げます。

世界情勢に目を向けますと，ロシアによるウクライナ侵攻を始め，北朝鮮による相次ぐミサイルの発射等，我が国周辺におきましても，力を背景とした一方的な現状変更の動きが強まり，平和の国際秩序は大きく変化しつつあります。

国際平和と安全に責任を有する国連安全保障理事会が，拘束力のある決議を採択できずにいることは，国連に対する失望や落胆も大きいものと感じております。

こうした中，国民の不安は強まっており，自衛隊の皆様への期待も日増しに高まっております。皆様におかれましては，ここ江田島で，幹部自衛官として，強い責任感と確固たる使命感をもって己を磨き，国民の負託に応え得る技量を身につけていただくことを，期待しております。

さて，皆様，御存知のとおり，ここ江田島市は，今から百三十四年前，明治二十一年，海軍兵学校が東京築地から移転し，その後，昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし現在に至る六十六年間，共存共栄・一体不可分の関係，少し柔らかい表現で言えば，相思相愛の関係を築き，皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。

四季折々の美しい自然に囲まれ，秀峰古鷹を望む風光明媚な瀬戸の島として親しまれており，四季折々には様々なイベントが予定されております。今週末の十一日，十二日には，人の力のみで海・里・山をめぐるスポーツイベント「シートゥーサミット」が開催されます。

厳しい訓練の合間にはこうした地域の催しにも御参加頂き，恵まれた自然や豊かな人情に触れ合いながら，江田島市との「縁」を紡ぎ「絆」を深めながら，思い出深い学生生活を送っていただきたいと思います。

そして，ここ江田島市での皆様の生活が，実りある充実したものになりますことを，強く祈っております。

結びになります。日本国の繁栄，海上自衛隊の益々の御隆盛，御発展，そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を，心よりお祈り申し上げ，お祝いの言葉とさせていただきます。

令和四年六月八日

江田島市長　　明岳　周作